

第3 事業実績

I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進

1 アイヌ関連研究事業

アイヌに関する総合的・実践的研究を行う事業及び研究成果などの出版に対して助成を行い、アイヌの社会や文化に関する研究の推進を図った。

(ア) 研究・出版助成

- ・研究助成 アイヌの社会や文化に関する総合的・実践的研究を行うものの中で、優れた研究成果の期待できる研究計画に対し経費を助成した。
- ・出版助成 アイヌの社会や文化に関する出版物で、商業ベースに乗らないものや自費出版のため発行部数が少なく、研究者などに行き渡らないものについて助成した。

・助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
研究助成	一般	4	4,600	8	8,165	6	4,279
	奨励	2	600	0	0	0	0
出版助成		8	9,600	7	9,609	6	8,322
合 計		14	14,800	15	17,135	12	12,601

(イ) 研究成果集

・登載審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委 員	廣野 洋	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員長
委 員	笹倉いる美	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員
委 員	出利葉浩司	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員
委 員	阿部 一司	アイヌ民族文化財団事業運営副委員長
委 員	山崎 幸治	アイヌ民族文化財団事業運営委員

・審査（在宅審査）

審査期間	審査対象の成果品	摘 要
10月5日（金）～12月21日（金）	6件	各審査委員に成果品のコピーを送付し、在宅審査を行う。

・研究成果集の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第18号	3月	上下巻 1,000	道内市町村教育委員会、主な公共図書館、大学付属図書館、博物館、北海道アイヌ協会等のアイヌ関係団体、研究機関など

II アイヌ語の振興

1 アイヌ語教育事業

① 指導者育成

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、アイヌ語の文法や言語学の基礎を踏まえた効果的な指導方法などについての学習機会を提供し、アイヌ語指導者の育成を図った。

(ア) 講師一覧

氏名	摘要
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究科教授
志賀 雪湖	東京外国語大学大学院非常勤講師
北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
八谷 麻衣	平成28年度アイヌ語初級講座（旭川地区）講師
作田 悟	指導者育成事業第6期修了生
中井 貴規	アイヌ民族文化財団博物館運営準備室 研究員

(イ) 講師会議

開催日	開催場所	協議事項等
6月 1日（金）	アイヌ文化財団会議室	・今年度の指導方針について ・スクーリング・カリキュラム案の作成 ・フォローアップ・カリキュラム案の作成
10月14日（日）	千歳エアポートホテル	第2回スクーリング・カリキュラム案の作成
11月18日（日）	真駒内コンパス	第3回スクーリング・カリキュラム案の作成
2月22日（金）	アイヌ文化財団会議室	・今年度の総括 ・フォローアップ講座・日程および開催地域の決定について ・指導者育成事業講師について

(ウ) スクーリング

開催期間	開催場所	受講生
10月12日（金）～14日（日）	千歳エアポートホテル	阿部一、早坂駿、 篠田マナ、米澤諒、 葛野大喜、平澤隆二郎、 関根摩耶、萱野公裕
11月16日（金）～18日（日）	真駒内コンパス	
12月 7日（金）～ 9日（日）	真駒内コンパス	

(エ) フォローアップ講座

開催期間	開催場所	受講生
7月6日（金）～ 7月8日（日）	釧路市 まなぼつと幣舞	大須賀るえ子、大森恵、小川早苗、 川上さやか、加納ルミ子、工藤小夜、 椎久慎介、瀧口夕美、多原亜希子、 多原良子、山丸賢雄

② 上級講座

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、中級話者を対象に地域において講座を開設し、将来、アイヌ語の指導者となる上級話者の育成を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	中川 裕	15	4月28日(土)～3月23日(土)	12
浦河	関根 健司	3	7月30日(月)～12月4日(火)	12
札幌	澤井 アク	5	8月4日(土)～9月20日(木)	12
白老	大須賀るえ子	5	6月3日(日)～8月26日(日)	12
白糠	藤村 久和	5	6月8日(金)～10月14日(日)	12
阿寒	藤村 久和	5	11月10日(土)～2月11日(月)	12

③ 初級講座

(a) 親と子のアイヌ語学習

アイヌ民族の親子を対象とし、アイヌ語話者及びアイヌ語研究者の協力を得て、アイヌ語の振興及びアイヌの伝統や文化の保存を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	瀧口 夕美	2家族 4名	4月14日(土)～3月23日(土)	24
札幌	澤井 アク	3家族10名	6月30日(土)～1月16日(水)	5

(b) アイヌ語入門講座

アイヌ語伝承者のさらなる掘り起こしと裾野の拡大を目的にアイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象とした入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげた。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
札幌	多原 良子	27	6月16日(土)～12月1日(土)	20
東京	成田 英敏	26	5月9日(水)～3月13日(水)	20
白老	山丸 賢雄	34	6月15日(金)～2月22日(金)	18
むかわ	押野千恵子	14	6月8日(金)～11月9日(金)	20
釧路	奥田 幸子	40	6月6日(水)～10月24日(水)	20
旭川	川村 久恵	6	6月22日(金)～3月3日(金)	20

2 アイヌ語普及事業

① ラジオ講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をSTVラジオから放送し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

(ア) 放送内容

放送局	放送日・放送時間	講師
STVラジオ	本放送：毎週日曜日 あさ 7:00～7:15 再放送：毎週土曜日 よる11:45～12:00	関根 摩耶

(イ) テキスト

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
平成30年度Vol. 2 (7月～9月放送分)	6月	3,500	S T V、道内市町村教育委員会、アイヌ協会、各地域アイヌ協会 他
平成30年度Vol. 3 (10月～12月放送分)	9月	3,500	
平成30年度Vol. 4 (1月～3月放送分)	12月	3,500	
平成31年度Vol. 1 (4月～6月放送分)	3月	3,500	

(ウ) 収録

平成30年度 第8回 放送分から平成31年度 第3回 放送分まで

(エ) アイヌ語ラジオ講座検討委員会

・検討委員一覧

氏 名	摘 要
石田 勝也	札幌市立大学デザイン学部メディアデザインコース講師
北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究科教授
関根 健司	平取町立二風谷アイヌ文化博物館学芸員補
中川 裕	千葉大学大学院文学研究科教授
中田美知子	札幌大学客員教授 元AIR' G常務取締役・フリーアナウンサー

- ・開催日 2月6日(水)
- ・場 所 アイヌ文化財団会議室
- ・出席者 委員6名及び事務局職員
- ・協議事項 講座継続の可否、新規発信方法等

② 弁論大会

アイヌ語を学んでいる人々の学習成果を発表する場として、アイヌ語による弁論大会を開催し、その学習意欲の向上を図るとともに、開催地域の人々にアイヌ語を直接耳にする機会を設けアイヌ語の普及を図った。

(ア) 開催日時

12月 1日(土) 10:00～17:00

(イ) 開催場所

北ガス文化ホール 中ホール(千歳市北栄2丁目2番11号)

(ウ) 出場者

募集期間 6月20日(木)～6月28日(金)

区 分	発表内容	出場者数
子供の部	自由	8組13名
大人の部	口承文芸部門	13名
	弁 論 部 門	2名
口演の部	自由	3組 5名

(エ) 審査委員

区 分	氏 名
審査委員長	弓野 恵子
審査委員	岡田 路明、関根 健司、丸子 美記子

(オ) 表彰

区 分		発表内容	表彰者
最優秀賞	子どもの部	自由	楠本 直嗣（札幌市）
	大人の部	口承文芸部門 弁論部門	貝澤 ユリ子（平取町） 該当者なし
優秀賞	子どもの部	自由	GREEN Bou GRINBO（釧路市）、下倉 りうか（釧路市）
	大人の部	口承文芸部門	米澤 諒（白老町）、吉村 圭一郎（千歳市）、 高橋 比登美（北広島市）
		弁論部門	関 玲（京都府）

(カ) その他

出場者募集ポスター	:	900 枚（6月作成）
出場者募集チラシ	:	3,500 枚（6月作成）
来場者募集チラシ	:	5,200 枚（11月作成）
プログラムの作成	:	250 部（11月作成）
報告集の作成	:	800 部（2月作成）

Ⅲ アイヌ文化の振興

1 アイヌ文化伝承再生事業

① マニュアル作成

アイヌの伝統的な生活文化には、有形・無形を含め様々なものがあるが、その製作技術や儀礼などが失われつつある。このため、テーマ毎に映像と活字による「アイヌ生活文化再現マニュアル」、工芸品等の製作の様子や伝承活動を紹介する「アイヌ文化伝承活動アーカイブス」を作成し、広く人々の利用に供して、製作技術などの保存・伝承を図った。

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
解説書製作「踊りVI 白老・新冠編」	12月	320	博物館、図書館、各アイヌ協会、アイヌ関係団体など
映像制作「捧酒箸 ～イクパスイ～」	3月	350	
アイヌ文化伝承活動アーカイブス Vol.3	3月	1,000	

② 実践上級講座

(a) 口承文芸伝承者（語り部）育成

ユカラ（英雄叙事詩）、カムイユカラ（神々の物語）、ウエペケレ（昔話）などの口承文芸の伝統を継承するため、伝承者が継承者へ「語り」を直接指導するなどして、新たな語り部の育成を図った。

開催地区	伝承者	継承者数	開催期間	開催回数
浦河	太田 満	2	7月20日（金）～12月8日（土）	15
帯広	木村寿美子	5	10月17日（水）～1月31日（木）	15
札幌	澤井 アク	5	7月25日（水）～12月13日（木）	15
平取	木幡サチ子	5	6月5日（火）～11月27日（火）	15
むかわ	竹中ちづ子	5	6月1日（金）～9月27日（木）	15

(b) 伝統文化（木彫・刺繍等）指導者育成

アイヌの人々が多く居住する北海道や関東地区において、アイヌの民族舞踊や刺繍、木彫などの講座を開設し、アイヌ文化を担う指導者の育成を図った。

開催地区	講座種別	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	刺繍	石井 美香	11	5月27日（日）～3月24日（日）	10
	音楽	千葉 伸彦	13	6月3日（日）～3月3日（日）	9
	編物	河岸 麗子	9	6月3日（日）～3月3日（日）	9
白糠	刺繍	桃井 芳子	10	6月3日（日）～12月16日（日）	12
白老	刺繍	下河 ヤエ	9	6月9日（土）～2月23日（土）	12
浦幌	木彫	廣川 昌嘉	9	6月14日（木）～7月20日（金）	12
平取	刺繍	川上ききょう	8	6月18日（月）～1月21日（月）	12
札幌	刺繍	小山 洋子	15	6月18日（月）～9月10日（月）	12
長万部	刺繍	三原久美子	12	6月20日（水）～1月16日（水）	12
帯広	舞踊	酒井奈々子	13	7月8日（日）～1月20日（日）	12
苫小牧	木彫	高野 繁廣	10	7月11日（水）～10月24日（水）	12
札幌	木彫	長縄 茂	15	7月12日（木）～8月17日（金）	12
芽室	木彫	吉根 憲一	11	7月15日（日）～2月24日（日）	12
むかわ	刺繍	本間 英子	8	8月7日（火）～10月30日（火）	12
札幌	編物	貝澤 竹子	15	8月8日（水）～10月25日（木）	12
伊達	刺繍	山崎シマ子	15	9月13日（木）～10月26日（金）	12
上士幌	編物	佐藤けさ子	12	9月22日（土）～12月16日（日）	12
帯広	編物	高田 絹代 吉根とみ子	15	9月29日（土）～12月22日（土）	12
釧路	刺繍	桃井 芳子	13	10月16日（火）～11月28日（水）	12
白老	刺繍	岡田 育子	14	10月26日（金）～2月15日（金）	12
幕別	編物	早坂 ユカ	8	11月4日（日）～12月19日（水）	12
登別	刺繍	芳賀美津枝	15	11月2日（金）～2月1日（金）	12
阿寒	刺繍	津田 命子	15	11月5日（月）～11月26日（月）	10

(c) 成果発表会の開催

(ア) 審査委員

役職名	氏名	摘要
委員	川村 則子	伝統工芸家
委員	水野 練平	伝統工芸家

(イ) 審査会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
2月15日（金）	千代田区立日比谷図書文化館	25点	一次審査～二次審査

(ウ) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	2月16日（土）	千代田区立日比谷図書文化館	129名
展示	2月15日（金）～17日（日）		

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	部 門	作品名
入 選	今井ノリ子	編物・織物・刺繍の伝統的作品	アットウシ
	弓野 恵子	その他の伝統的作品	タラ
	島田あけみ	アイヌ文化に関する一般作品部門	タペストリー
奨励賞	掛川きさ子	編物・織物・刺繍の伝統的作品	樺太アイヌ衣
	神崎千代子	その他の伝統的作品	エムシアツ
	大空ひとみ	アイヌ文化に関する一般作品部門	タペストリー

③ 伝統工芸複製助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、複製品製作を行う個人や団体に対して経費の一部を助成し、その伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
29	12,900	32	12,270	31	11,762

④ 口承文芸視聴覚資料作成事業

平成24年度から29年度の6年間で製作したアニメーション映像に対し、他言語に翻訳した字幕を追加することで、来日外国人や諸外国でアイヌの無形文化を紹介できる資料として用いると共に、他言語圏でのアイヌ文化入門教材として活用することで、アイヌ文化の振興を図った。

タイトル	作成時期	作成数	内 容
「Oruspe Swop 1～3」	3月	300	既存アニメーションDVDの多言語化（英語、韓国語、中国語）作成

⑤ 風俗慣習に関する伝承事業

アイヌ文化振興の一環として、文化継承者として次世代を担う人たちが、豊富な経験や知識を有するエカシ、フチからアイヌの風俗や慣習について継承する取り組みに要する経費の一部を助成し、アイヌ文化伝承活動の促進を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	1,750	8	841	8	796

2 アイヌ文化交流事業

① アイヌ文化交流事業

(a) 国内文化交流助成

アイヌ文化の伝承者などを招聘し、アイヌ語や民族舞踊、木彫などを学習・鑑賞・体験しようとする事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の理解の促進を図った。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
道内実施	25	25,000	89	50,960	82	41,888
道外実施	11	16,500	9	9,257	4	4,838
合 計	36	41,500	98	60,217	86	46,726

*実施状況の現地確認

財団職員が、現地に出向き助成事業の実施状況を確認した。

件数 3事業、派遣者数 3名

(b) 国際文化交流助成

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外先住民族などとの交流を通して、その文化の伝承・保存活動などを学ぶとともに、自らの文化を紹介するため、海外への派遣や海外から招聘する国際交流事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(ア) 派遣事業

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外で文化交流活動を行う事業

(イ) 招聘事業

アイヌ文化の活動に関するセミナーなどを国内で開催する際に、海外から講師などを招聘する事業

(ウ) 助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
派遣事業	4	4,800	4	7,215	1	325
招聘事業	2	800	2	1,776	1	843
合 計	6	5,600	6	8,991	2	1,168

② 青少年国際文化交流研修事業

アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つ青少年について、海外の少数民族や先住民族と交流する場を設け、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を直接学ぶことにより、将来のアイヌ文化の担い手としての自覚を喚起し、以て若年層のアイヌ文化伝承・保存活動への意欲向上を図るとともに伝承基盤の強化を図った。

(ア) ハワイ研修

- ・募集期間 5月22日（火）～7月13日（金）
- ・応募者数 13名 ・選考結果10名
- ・事前研修（研修生10名 事務局3名）

実施日	場 所
11月 3日（土）～ 4日（日）	アイヌ民族文化財団会議室

- ・海外研修（研修生 9名 事務局2名）

実施日	交流先
1月 6日（日）～11日（金）	アメリカ合衆国ハワイ州（オアフ島）において ハワイアンとの交流

- ・事後研修（研修生6名 事務局3名）

実施日	場 所
2月17日（日）	アイヌ民族文化財団会議室

(イ) 青少年国際文化交流フォローアップ研修事業助成

この研修事業に参加した若者を対象に、アイヌ文化の継承者として育てていくため、「アイヌ若者委員会」が主催する行事等への参加に要する経費を助成した。

実施日	主催・題材	講 師
6月 3日（日）	アイヌ若者委員会 事業検討会議	
10月6日（土）～7日（日）	アイヌ若者委員会 第1回研修会 アイヌ若者委員会 地方合宿 『旭川・上川アイヌ文化を学ぼう』	川村久恵 伊澤フサ子 伊澤一浩

3 アイヌ文化普及事業

① 伝統工芸展示・公開助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、優れた工芸品の展示・公開を行う個人や団体に対して、経費の一部を助成し、伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
5	2,500	7	2,603	6	2,159

② アドバイザー派遣

アイヌの伝統や文化についての理解を深め、技術を学ぼうとする文化団体や学校などからの要請に応じて、専門的な知識や技術等を有する人をアドバイザーとして派遣するとともに、各種学校向けにアイヌ文化体験講座をメニュー化した「学校向け（パッケージ）派遣」を設け、アイヌ文化の振興を図った。

(ア) 委 嘱 312名

(イ) 派遣実績 323件 延671名

(うち学校派遣：小学校 110件、中学校 32件、高校 31件、大学 19件)

③ 工芸品展

アイヌの伝統的な工芸技術を用いて製作されたアイヌ民族衣装、生活用具、儀式用具、民芸品等を広く一般に公開するため、「アイヌ工芸品展」を開催し、アイヌ文化に関する知識の普及啓発及び伝承意欲の向上等の促進を図った。

(a) 工芸品展企画委員

(ア) 企画委員名簿

役職名	氏名	摘要
委員長	長谷部一弘	函館市縄文文化交流センター館長代理（学芸員）
委員	浅川 泰	元北海道立近代美術館学芸部長
委員	貝澤 徹	アイヌ工芸家
委員	葛西 真輔	公益財団法人知床財団保護管理研究係主任
委員	北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授
委員	笹倉いる美	北海道立北方民族博物館学芸主幹
委員	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	斉藤 大朋	新ひだか町博物館主幹・学芸員
委員	小野寺 聡	新ひだか町博物館主幹・学芸員
委員	角崎 大	秋田県立博物館学芸主事
委員	丸谷 仁美	秋田県立博物館主査（兼）学芸主事

(イ) 企画委員会

開催日	開催場所	協議事項
5月17日（木）	アイヌ文化財団会議室	H30年度開催要項について、出品資料の選定について、図録編集方針について、今後のスケジュールについて
12月17日（月）	アイヌ文化財団会議室	H31年度開催要領等について、展示構成について、資料調査先について、今後のスケジュール・役割分担について

(b) 展覧会

(ア) 展覧会名称

「キムンカムイとアイヌー春夏秋冬」

(イ) 資料借用先等

北秋田市、釧路市立博物館、国立民族学博物館、斜里町立知床博物館、東京国立博物館、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、にかほ市象潟郷土資料館、のぼりべつクマ牧場、北海道立北方民族博物館、伊藤健次氏、木内章夫氏、佐藤謹治氏、佐藤千代氏、佐藤文子氏、鈴木一幸氏、鈴木英雄氏、須田正美氏、福田隆次氏、前田菜穂子氏、松橋幾子氏、松橋勝利氏、松橋ユリ子氏

(ウ) 道内会場

- ・会 期 9月15日（土）～11月4日（日）
- ・会 場 新ひだか町博物館（新ひだか町）
- ・来場者数 2,660名
- ・関連事業

区 分	内容等
ギャラリー・ツアー	日 時 9月15日（土）10:00から40分程度 会 場 新ひだか町博物館 展示室 講 師 山崎 幸治（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授） 葛西 真輔（公益財団法人知床財団保護管理研究係主任） 来場者数 30名
ミュージアム コンサート	日 時 10月14日（日）15:00～16:30 会 場 新ひだか町公民館 集会室 演奏者 ホラネロ（オホーツク音楽工房） 来場者数 60名
講演 「マタギの世界～ 阿仁マタギを中心 として～」	日 時 10月20日（土）15:00～16:00 会 場 新ひだか町地域交流センターピュアプラザ多目的室 講 師 丸谷 仁美（秋田県立博物館主査（兼）学芸主事） 来場者数 40名
ワークショップ 「アイヌの弓矢作 りと体験」	日 時 11月 3日（日）13:30～15:00 会 場 新ひだか町博物館 体験学習室、屋外テラス 講 師 岡田 恵介（公益財団法人アイヌ民族文化財団） 山道 陽輪（公益財団法人アイヌ民族文化財団） 来場者数 20名

(エ) 道外会場

- ・会 期 平成30年11月24日（土）～平成31年 1月23日（水）
- ・会 場 秋田県立博物館
- ・来場者数 8,952名
- ・関連事業

区 分	内容等
ギャラリー・ツアー	日 時 11月24日（土） 9:30から60分程度 会 場 秋田県立博物館 企画展示室 講 師 山崎 幸治（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授） 来場者数 80名
講演会 「アンレスカムイ （我らが育む神） －貴く愛しいクマ 神」及びアイヌの 歌・踊り	日 時 12月 9日（日）13:30～15:40 会 場 秋田県立博物館 講堂 講 師 北原モコットウナシ・次郎太（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授） 公益財団法人アイヌ民族文化財団職員 来場者数 120名
ワークショップ 「アイヌの矢作りと 体験」	日 時 12月23日（日）13:00～14:30 会 場 秋田県立博物館 講堂 講 師 岡田 恵介（公益財団法人アイヌ民族文化財団） 山道 陽輪（公益財団法人アイヌ民族文化財団） 来場者数 21名
ワークショップ及び 対談 「ツキノワグマ× ヒグマ」	日 時 1月12日（土） 10:00～12:00（ワークショップ） 13:30～15:40（対談） 会 場 秋田県立博物館 講堂 講 師 葛西 真輔（公益財団法人知床財団保護管理研究係主任） 小松 武志（北秋田市くまくま園園長） コーディネーター 船木 信一（秋田県立博物館主任学芸主事（兼）班長） 来場者数 102名

(c) 常設展示

財団事務所内展示スペース、アイヌ文化交流センター内展示スペース、新千歳空港国際線展示コーナー、釧路空港展示コーナー、函館空港展示コーナー、帯広空港展示コーナー、新函館北斗駅、北海道庁展示スペース、胆振振興局等に衣服、木工芸品等を展示

(d) 貸出

所蔵資料の貸出 61件

(e) アイヌ文化学習トランクの作成 2セット

(f) 現代アイヌ工芸品の展示

「木のカタチ — アイヌが生み出す美」 (札幌グランドホテル)

展示期間 9月2日(日)～10月31日(水)

④ 文化フェスティバル

北海道及び北海道外において、広く一般の人々を対象に、民族舞踊をはじめとするアイヌ文化を総合的に紹介するアイヌ文化フェスティバルを開催し、アイヌ民族やアイヌ文化への国民的な理解の促進を図った。

開催日・開催地	内 容	来場者数
5月19日(土) 高知県高知市 高知市文化プラザ かるぼーと	◇基調講演 谷本 晃久(北海道大学大学院文学研究科教授) 「アイヌ文化と江戸時代のアイヌ語辞書 ～龍馬夫人は何を学んだか?～」 ◇口承文芸 川村 久恵 ◇音楽公演 千葉 伸彦 ◇古式舞踊 アンコラチメノコウタラ ◇木彫実演 荒木 繁 ◇刺繍実演 貝澤 竹子	550
6月16日(土) 北海道網走市 オホーツク・文化交 流センター	◇基調講演 篠田 謙一(国立科学博物館副館長・人類研究部長) 「DNAが明らかにする日本列島集団の成立史」 ◇口承文芸 高橋ひとみ ◇音楽公演 阿寒口琴の会 ◇古式舞踊 様似民族文化保存会 ◇木彫実演 水野 練平 ◇刺繍実演 間宮喜代子	271
10月6日(土) 岩手県盛岡市 アイーナ いわて 県民情報交流セン ター	◇基調講演 石田 肇(琉球大学医学部長・医学研究科長) 「日本列島の人類史解明」 ◇口承文芸 萱野 りえ ◇音楽公演 フンペシスターズ ◇古式舞踊 帯広カムイトウウポポ保存会 ◇木彫実演 高野 繁廣 ◇刺繍実演 岡田 育子	472
11月17日(土) 北海道札幌市 道新ホール	◇アイヌ文化賞贈呈式 ◇口承文芸 関口真由来 ◇音楽公演 カピウ&アパッポ ◇古式舞踊 苫小牧アイヌ民族保存会 ◇歌など 平取町二風谷アイヌ語教室子どもの部 ◇木彫実演 水野 練平 ◇刺繍実演 宮田 初枝	488

1月26日（土） 東京都品川区 きゅりあん 品川 区立総合区民会館	◇基調講演 中川 裕（千葉大学文学部教授） 「ゴールデンカムイから知る・楽しむアイヌ文化」 ◇口承文芸 弓野 恵子 ◇古式舞踊 阿寒アイヌ民族文化保存会（音楽公演含む） ◇木彫実演 貝澤 守 ◇刺繍実演 貝澤 竹子	1,142
--	--	-------

⑤ 博物館等アイヌ資料展示・公開等助成

博物館・資料館等が実施するアイヌ文化に関する体験学習やアイヌ関係の所蔵資料の公開に要する経費の一部を助成することで、来館者がムックリ等の製作体験をできる機会を増やすとともに、収蔵庫に収められている資料の公開を促進することによりアイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
常設展示	1	3,000	1	2,997	1	2,997
企画展示	1	3,000	2	2,327	2	1,862
体験事業	10	3,000	1	237	1	229
合 計	12	9,000	4	5,561	4	5,088

4 アイヌ文化活動表彰事業

① 工芸作品コンテスト

アイヌの伝統的な技術による工芸作品やその技術を活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀な作品を表彰して製作技術の向上と芸術創作活動を促進するとともに、応募作品を展示し、アイヌ工芸作品を鑑賞する機会を提供した。

(ア) アイヌ工芸作品コンテスト審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	浅川 泰	元北海道立文学館学芸員
副委員長	川村 則子	アトリエのんのん代表
委 員	貝澤 竹子	(公財)アイヌ民族文化財団認定 伝統工芸家
委 員	貝澤 徹	北の工房つとむ
委 員	出利葉浩司	北海学園大学客員研究員
委 員	日高 青志	北海道立総合研究機構ものづくり支援センター技術支援部

(イ) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
8月17日(金)	かでの2・7 110会議室及び 展示ホール	124点	委員長の互選 一次審査及び二次審査 受賞作品決定

(ウ) 表彰式・展示

区 分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	8月21日（火）	かでのる2・7展示ホール	—
展 示	8月18日（土）～21日（火）		707
巡回展示	9月 7日（金）～12日（水）	有楽町朝日ギャラリー	481
巡回展示	9月20日（木）～25日（火）	帯広市民ギャラリー	411

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	所在地	部 門	作品名
優秀賞	阿部 春江	平取町	刺繍・伝統	アットウシ アミップ
	貝澤美和子	平取町	一 般	サラニブ（背負い袋）
	山田かおる	札幌市	一 般	a=ikoikarpe(アイコイカラペ)
入 選	信太 成子	北斗市	刺繍・伝統	テンキ
	梶川 綾子	室蘭市	刺繍・伝統	ルウンペ
	諏訪 良光	標茶町	一 般	トンコリ（五弦琴）
奨励賞	佐藤こずえ	帯広市	刺繍・伝統	ホシ(脚半)
	竹内 洋子	函館市	刺繍・伝統	ルウンペ（木綿衣）
	鈴木千鶴子	鹿部町	刺繍・伝統	ルウンペ
	小林 甫丈	愛知県	木彫・伝統	マキリ
	谷口 滋	神奈川県	一 般	イタ（盆）
	氏家 恵子	音更町	一 般	ニタイ（森）
	半田 数三	栃木県	一 般	小物入れ
	木村れい子	江別市	一 般	タペストリー
	其浦 千秋	新ひだか町	一 般	手甲
	長谷川順子	苫小牧市	一 般	テーブルクロス

② アイヌ文化賞

永年にわたってアイヌ文化の向上、発展に努め、特に功績のあった人たちに、アイヌ文化賞、アイヌ文化奨励賞を贈呈して、その功績を顕彰するとともに、アイヌ文化の継承・振興にかかわる諸活動を奨励・促進した。

(ア) 被表彰者推薦期間

8月10日（金）～9月20日（木）

(イ) アイヌ文化賞等被表彰者選考委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	菊地 修二	様似アイヌ協会会長
委 員	浅川 泰	元北海道立近代美術館学芸部長
委 員	宇治 義之	豊浦アイヌ協会会長
委 員	大島 直行	前北海道考古学会会長
委 員	弓野 恵子	東京アイヌ協会副会長
委 員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委 員	三上 純一	むかわアイヌ協会会長

(ウ) 選考委員会

開催日	開催場所	協議事項等
10月 2日 (火)	一般社団法人北海道中小企業会館 (会議室E)	委員長の互選 アイヌ文化賞及びアイヌ文化奨励賞の選考

(エ) 贈呈式

開催日	開催場所	摘 要
11月16日 (土)	道新ホール	文化フェスティバル (札幌会場) において実施

(オ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者 (年齢)	所在地	備 考
アイヌ文化賞	上武やす子 (83歳)	登別市	
アイヌ 文化奨励賞 (個人)	大木イチ子 (85歳)	苫小牧市	
	貝澤かつえ (75歳)	平取町	
	川奈野惣七 (87歳)	平取町	
	熊野 薫 (75歳)	白老町	
	小林 慶子 (70歳)	釧路市阿寒町	
	溝尾 清治 (76歳)	新冠町	
	山田 祐治 (64歳)	白老町	

IV アイヌの伝統等に関する普及啓発

1 普及啓発促進事業

① 広報情報発信

(a) リーフレット等発行

アイヌの歴史や文化を紹介したパンフレットなどの広報資料を発行し、アイヌの歴史や文化について広く一般の人々の理解の促進を図った。

種 別	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
総合版 「アイヌ文化財団のあらし」	日本語版	1月	1,000	図書館、博物館、 アイヌ関係団体の ほか、主催事業への 来場者等
文化情報版 「アイヌの人たちとともに」	日本語版	6月	15,000	
	英語版	7月	5,000	

(b) ホームページ

インターネット上でアイヌ文化などに関する様々な情報を国内外に発信し、その普及啓発を図った。外国人のために英文のページも開設している。

(ア) アクセス数 120,363件 (対前年比 36,210件増)

(イ) アイヌ生活文化再現マニュアル動画の追加

- ・ヘカッタラシノツ【子どもたちの遊び】
- ・トンコリ【五弦琴】
- ・装身具【マタンブシ・レクトウンペ・テクンペ・ホシ・マンタリ】
- ・踊り【リムセ・ホリッパ】阿寒・平取編
- ・踊り【リムセ・ホリッパ】帯広・様似・白糠編

- ・踊り【ウポポ・ホリッパ・リムセ】旭川・千歳・弟子屈編
- ・踊り【ウポポ・ホリッパ・リムセ】札幌・静内・鶴川編
- ・踊り【ウポポ・ホリッパ・リムセ】浦河・釧路・春採編

(ウ) 幼児向け絵本「ほら、みてごらん」(平成29年度最優秀賞受賞作品)の追加

(エ) 児童書「森でひろったふしぎな赤ちゃん」の追加

(オ) 動画「オルシペ スウォア6」の追加

(カ) 動画「アイヌ文化伝承活動アーカイブスVol. 2」の追加

(キ) 動画「アイヌプリ」の追加

② 小中学生向け副読本の作成・配布

アイヌの歴史や文化についての児童・生徒の理解を深めるため、学校教育の場で使用される副読本を作成し、全国の小中学校へ配布してアイヌの歴史や文化などについての知識の普及啓発を図るとともに教員を対象に研修会を開催した。

(ア) 副読本等

種別	作成時期	作成数	配布先
小学生用	8月	71,000	全国の公立小中学校(道内小4学年、中2学年児童生徒全員)、都道府県教育委員会、市町村教育委員会、図書館など
中学生用	8月	65,000	
教師用指導書	8月	53,000	

(イ) 教員向け研修会

開催日	開催地	講師	事例発表者	体験講師	受講者数
8月1日(水)	網走市	中村 和之	磯部恵津子	郷右近富貴子	12
8月23日(木)	東京都	蓑島 栄紀	梅津 靖	—	14
8月27日(月)	滋賀県栗東市	岡田 路明	藤戸裕子	—	77
1月9日(水)	苫小牧市	関根 健司	西條林哉 奥山英登	—	13
1月10日(木)	帯広市	阿部 一司	渡部 操	—	25

③ 親と子のための普及啓発

アイヌの伝統などを内容とした幼児向け絵本の原作を募集し、優れた作品を表彰するとともに、絵本として刊行し、北海道内の幼稚園・保育園などに配布することで、絵本を通じて幼児期におけるアイヌの歴史や文化についての知識の普及啓発を図った。

(ア) 絵本原作募集

- ・募集期間 6月20日(水)～9月28日(金)
- ・応募点数 13点
- ・幼児向け絵本(原作)募集に係る選考委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	乾 芳宏	元余市町立余市水産博物館館長
委員	磯部恵津子	白糠アイヌ文化保存会会長
委員	志賀 雪湖	東京外国語大学大学院非常勤講師
委員	杉浦 篤子	藤女子大学人間生活学部保育学科前教授
委員	蓮池 悦子	金成マツノート研究者

・一次審査（在宅審査）

実施時期	審査対象作品数	摘要
11月中旬～12月上旬	13作品	審査委員に出品作品(写)を送付し在宅審査

・選考委員会（二次審査）

開催時期	開催場所	協議事項等
12月14日（金）	アイヌ民族文化財団会議室	二次審査対象作品の選定～二次審査受賞作品の決定

・受賞作品

種類	氏名	作品名
最優秀賞	雨貝 千絵	どっち？どっち？アイヌはどっち？
入選	椎谷 朋郁	オキキリミイのこのてがらばなし
奨励賞	松下 美希	火の馬
	廣岡 郁子	カムイのおくりもの
	今井 啓介	うさぎがうまれた オイナカムイの使ったもの
	Izumi Darroch	カムイパポニカアーホイヤー 明日天気になあれ

・絵本の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
『どっち？どっち？ アイヌはどっち？』	3月	4,500	全国の図書館、北海道内の小学校、幼稚園、 保育所など

④ セミナー

アイヌの伝統などについての基礎的な知識を有する方や学校教育・社会教育関係者などを対象に、アイヌの歴史や文化をテーマとする高度な内容のセミナーを開催した。

(ア) 札幌会場（かでの2・7）

開催日	講師	テーマ	受講者数
7月24日（火）	小野 哲也	北海道東部標津町にまつわるアイヌの歴史 －北海道150年事業のキーパーソン 松浦武四郎を手がかりに－	50
	山岸 喬	アイヌ民族の植物利用	57
7月25日（水）	山本 命	松浦武四郎の歩んだ道は未来へとつづく	55
	千葉 伸彦	アイヌ音楽、伝統と未来 －トンコリを中心に－	54
7月26日（木）	佐々木利和	アイヌ絵の世界	67
	藤戸 裕子	アイヌ文化と私	60
7月27日（金）	関根 健司	アイヌ語の未来 －二風谷の取組から－	54
	五十嵐聡美	木彫のいま －時代はAINU ARTを求めている－	50
8月20日（月）	長町 章弘	知られざる恵庭のアイヌ文化 －カリンバコタンから本流の岩屋まで－	27
8月21日（火）	瀬川 拓郎	日本文化のなかの縄文	38

(イ) 東京会場（アイヌ文化交流センター）

開催日	講師	テーマ	受講者数
8月7日（火）	瀬川 拓郎	日本文化のなかの縄文	38
	藤戸 裕子	アイヌ文化と私	37
8月8日（水）	千葉 伸彦	アイヌ音楽、伝統と未来 －トンコリを中心に－	33
	佐々木利和	アイヌ絵の世界	34
8月10日（金）	小野 哲也	北海道東部標津町にまつわるアイヌの歴史 －北海道150年事業のキーパーソン 松浦武四郎を手がかりに－	37
	長町 章弘	知られざる恵庭のアイヌ文化 －カリンバコタンから本流の岩屋まで－	36
8月23日（木）	北原次郎太	トウスクル －アイヌのシャマンはどう祈る－	43
8月24日（金）	関根 健司	アイヌ語の未来 －二風谷の取組から－	35

※8月9日：台風の影響により中止

(ウ) 茨城会場（茨城県立歴史館）

開催日	講師	テーマ	受講者数
9月17日（月）	小野 哲也	北海道東部標津町にまつわるアイヌの歴史 －北海道150年事業のキーパーソン 松浦武四郎を手がかりに－	50
	谷本 晃久	水戸藩の北海道支配	43

(エ) 網走会場（北海道立北方民族博物館）

開催日	講師	テーマ	受講者数
11月9日（金）	山岸 喬	アイヌ民族の植物利用	30
11月10日（土）	北原次郎太	トウスクル －アイヌのシャマンはどう祈る－	28
	佐々木利和	アイヌ絵の世界	28

⑤ 講演会

広く国民一般を対象に、全国各地でその地域の社会的状況を考慮しながら、アイヌの歴史や文化をテーマとした基礎的な内容の講演会を開催し、その知識の普及啓発を図った。

開催日・開催地	演題	講師	来場者数
5月19日（土） 高知県高知市	アイヌ文化と江戸時代の アイヌ語辞書 ～竜馬夫人は何を学んだか～	谷本 晃久 北海道大学大学院文学研究科教授	550
6月16日（土） 北海道網走市	DNAが明らかにする 日本列島集団の成立史	篠田 謙一 国立科学博物館副館長・ 人類研究部長	271
10月6日（土） 岩手県盛岡市	日本列島の人類史解明	石田 肇 琉球大学医学部長・ 大学院医学研究科長	472

⑥ イランカラブテキャンペーン

アイヌ語の挨拶の言葉である「イランカラブテ」をアイヌ文化の情報発信や理解促進のキーワードとして、アイヌ文化等への親近感や共感を高めるための取り組みを実施した。

(ア)イランカラブテキャンペーン～ふれてみようアイヌ文化～

日時	場所	内容
3月2日(土)	イオンモール幕張新都心 (千葉県千葉市)	古式舞踊、紙芝居、映像資料上映、ムックリの製作・演奏体験、民族衣装試着体験、VR体験、工芸品展示、啓発グッズ(ウェットティッシュ)の製作と無料配布
3月10日(日)	羽田空港第1ターミナル (東京都大田区)	

(イ)空港等での展示

展示期間	展示場所	主な展示品
～10月31日(終了)	新千歳空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	釧路空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	函館空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	帯広空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	新函館北斗駅	アイヌ工芸品、リーフレット
7月1日～8月31日	京王プラザホテル札幌	「アイヌ民族文化ロビー展」 アイヌ工芸品、リーフレット
12月1日～	旭川空港	アイヌ工芸品、リーフレット

(ウ)アイヌ工芸品リレー展示

展示期間	展示場所
12月10日～1月6日	大通ビッセ 1F ロビー
1月7日	札幌プリンスホテル国際館パミール 5F
1月8日～2月8日	北海道電力(株)本店 1F
2月13日～3月12日	(株)北洋銀行倶知安支店
3月13日～3月31日	Sapporo55 1F ロビー

※共催「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」

(エ)キャンペーン啓発ツール

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先等
エコバッグ	7月	1,300	各種イベント等で配布
	10月	3,000	
	3月	3,000	
ふれてみようアイヌ文化 (リーフレット)	3月	3,000	各種イベント等で配布
ピンバッジ	3月	6,000	関係機関等へ配布
道南バスアイヌ語車内アナウンス リーフレット (アナウンス解説・バス停名一覧)	10月	各2,000	道南バス株式会社、平取町、関係機関等配布
道南バスアイヌ語車内アナウンス ポスター (アナウンス解説・バス停名一覧)	10月	各2,000	

(オ) SNSによる情報発信

アイヌ関連イベントの様子や、イランカラフテキャンペーンサポーター企業のアイヌ文化に関する取り組みについて取材し、作成した記事を日本語及び英語で Facebook に投稿し、情報発信を行った。

- ・アイヌ文化関連イベント 9件
- ・アイヌ文化関連施設 1件

2 アイヌ文化交流センター事業

首都圏に居住するアイヌの人々の交流活動やアイヌ文化の伝承活動などを支援するとともに、アイヌと一般の人々との交流の場やアイヌ文化などに関する情報収集・発信の場として、多角的な機能をもつアイヌ文化交流センターを運営した。

(ア) 常設展示の実施

(イ) アイヌ関係図書や映像資料の閲覧

種別	購入数	寄贈数	総数	備考
図書	14	48	4,907	
映像	0	4	449	DVD 115本含む

(ウ) イランカラフテ・アイヌ文化体験講座

開催日	開催場所	講座種別	講師(助手)	受講者数	受講対象者
8月 3日(金)	アイヌ文化交流センター	木彫	平田 篤史	9	一般
9月 6日(木)	アイヌ文化交流センター	刺繍	八幡 智子 (山下とみ子)	19	一般
10月 4日(木)	アイヌ文化交流センター	舞踊	平田 幸 東儀 里絵	16	一般
11月 1日(木)	アイヌ文化交流センター	刺繍	宇佐 照代 (宇佐 智美)	21	一般
12月 6日(木)	アイヌ文化交流センター	刺繍	島田あけみ (大空ひとみ)	20	一般
1月 24日(木)	アイヌ文化交流センター	編物	弓野 恵子	16	一般

(エ) 交流センター利用者(年間)

区分	利用者数	対前年比
アイヌ関係者	1,088	7
一般	3,336	82
合計	4,424	89

V 伝統的生活空間の再生

1 伝統的生活空間の再生事業

アイヌの伝統的生活空間(イオル)の再生をイメージして自然空間を形成し、その管理運営や自然素材の育成・利用を行い、アイヌ文化の保存、継承及び発展を図った。

① 空間活用等事業・自然素材育成事業

イオルの再生や自然素材育成のための場の確保、空間を活用した普及啓発、自然素材の入手から利用までの一連の過程を行うための管理運営体制の整備を図った。

また、アイヌ文化の伝承活動に必要なにもかかわらず不足している植物の育成やオヒョウニレ等の絶対量が不足している自然素材を植樹、栽培した。

実施地域	事業内容	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（ポロト休養林・陣屋地区・森野地区・ヨコスト地区）生育・管理 ・白老イオル事務所(チキサニ)運営 	白老町 (白老モシリ)
平 取	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（丘畑・水辺空間・イオルの森）の試験栽培・管理、活用 ・チセの活用 ・ライブラリ事業 ・平取イオル事務所運営 	平取町 (二風谷民芸組合等)
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・アイヌ文化普及啓発事業 	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・アイヌ文化普及啓発事業 	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・アイヌ文化普及啓発事業 	帯広市 (トカプチアイヌ協会)
釧 路	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化普及啓発事業 ・耕作地造成工事等 ・自然素材の栽培育成・管理 	釧路市 (釧路イオル共同体)

② 体験交流事業

イオル空間や自然素材を活用し、一般の方々を対象にアイヌ文化の理解の促進と普及を図った。

実施地域	事業内容等	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・海のイオル体験交流 10月 6日(土)、13日(土)、11月17日(土) ・山のイオル体験 5月19日(土)、9月22日(土)、26日(水)、2月23日(土) ・川のイオル体験交流 10月23日(火)・24日(水) ・アイヌ文化の体験・体感 8月 1日(水)・2日(木) ・ミニ体験交流 4月14日(土)、6月9日(土)、8月4日(金)、 10月27日(土)・28日(日)、11月23日(金)・24日(土)、 12月22日(土)・23日(日)、1月12日(土)・13日(日)、 3月12日(火)・13日(水)、3月16日(土) ・普及啓発出前講座 7月 6日(金)、9月 4日(火)、10月21日(日)、11月9日(金)、 11月30日(金)、12月18日(火)、1月11日(金)、 1月29日(火)、2月 5日(火)、2月13日(水) 	白老町 (白老モシリ)

平取	<ul style="list-style-type: none"> ・キナアカラ（山菜採り）体験 5月12日（土） ・サラニブテセ（袋編み）体験 5月31日（木）～10月18日（木）（毎週木曜全20回） ・イチャ・イユタ体験 9月22日（土） ・イナウケ体験 10月 1日（月）・2日（火） ・アシリチュエプノミ 10月13日（土） ・イオルの森散策・植樹体験 10月27日（土） ・ミニ体験交流（プレスレット作り） 6月29日（金）、12月17日（月）、1月22日（火） 	平取町 （二風谷民芸組合等）
札幌	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの伝統料理調理体験 1月16日（水）、1月30日（水）、2月13日（水）、2月17日（日） ・アイヌの民具づくり体験 （カラフトアイヌ文様刺繍小物入れ製作） 12月12日（水）～12月21日（金）（うち全5回） 1月15日（火）～1月30日（火）（うち全5回） ・アイヌの子どもの遊び体験 弓矢づくり 2月 3日（日） かんじきづくり 2月10日（日） 	札幌市 （札幌アイヌ協会）
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材栽培・収穫体験交流 10月19日（金）、23日（火）、29日（月）、30日（火） ・伝統的サケ漁の再現・体験 10月24日（木） ・アイヌ文化歴史講座 11月18日（日） ・伝統的アイヌ料理の実習体験 2月14日（木）、15日（金） 	新ひだか町 （新ひだかアイヌ協会）
十勝	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの薬用植物を学ぶ体験 7月 1日（日） ・自然素材を活用しながら実践的に学ぶ体験事業 8月19日（日） ・自然素材を活用しながら実践的に学ぶ体験事業 10月28日（日）～11月25日（日）（毎週日曜全5回） ・アイヌの薬膳料理体験 12月 9日（日） 	帯広市 （トカプチアイヌ協会）
釧路	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ伝統料理体験交流会 1月24日（木） 	釧路市 （釧路イオル共同体）

③ 伝承者育成事業

イオル空間を利用して、アイヌ文化に関する知識や技術を身につけさせる事業を実施し、人材（伝承者等）の育成を図る。

- ・受講者 4名
- ・講義日数 234日
- ・内 容 アイヌ語、アイヌの歴史の講義
植物採取及び加工、調理法及び木彫実習、道内研修の実施
(備考) 研修生4名中、体調不良者が2名(年間出席率:1名は85%、1名は63%)

④ 連携促進事業

各地域共通の課題の解決や取り組みの更なる充実を図るためには地域間の連携が重要であることから、地域間のネットワークの形成やイオル事業を担う人材の育成などを図る。

(ア) ネットワークの形成等

○ネットワーク会議の現地開催(平取イオル・平取町)10月31日(水)

- ・イオル実施地域の視察

○ネットワーク会議の開催 3月29日(金)

- ・事業実施地域の情報交換、実施地域以外への情報提供等
- ・自然素材の融通等
- ・地域の伝統文化、伝承者、活動団体等に関する情報の提供

⑤ 連絡調整等

(ア) アイヌの伝統的生活空間の再生事業検討会議


- ・委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	三上 純一	むかわアイヌ協会会長
委員	木村 英彦	平取アイヌ協会会長
委員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委員	出利葉浩司	北海学園大学客員教授
委員	山丸 和幸	白老アイヌ協会副会長

- ・検討会議

開催日	開催場所	協議事項等
8月7日(火)	北海道水産ビル(第2)(札幌市)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する検証・評価(案)について ・平成31年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業実施計画(案)について ・新たな中期的展開方針に関する報告書(案)策定スケジュールについて[報告]

2 伝統的生活空間(イオル)の再生事業関連事業(再掲)

- 上級講座 p. 7 参照
- 親と子のアイヌ語学習  p. 7 参照
- 文化フェスティバル p. 16参照

VI 民族共生象徴空間運営事業

1 民族共生公園等開業準備業務

①伝統芸能上演プログラムの運営準備等

- ・上演演目及びシナリオ等の検討
- ・演出映像や音響技術の検討
- ・多言語解説手法の検討・上演衣装及び舞台展示工芸品の作成等

②体験交流プログラムの運営準備

- ・実施マニュアル作成
- ・材料、機材の調達計画の検討
- ・工芸品等の作成等

③各施設等の設備、機能の検討

- ・飲食物販の運営内容の検討
- ・安全確保方策の検討
- ・園内情報案内システム、多言語ガイドシステムの導入方策の検討等

④広報及び誘客促進等

- ・ポスター・リーフレット、ホームページの作成
- ・旅行会社への誘客促進活動、出張公演等でのPR活動等

2 国立アイヌ民族博物館管理運営準備業務

①調査研究・交流に関する業務

- ・調査研究事業の企画立案、研究機材の選定、アイヌ語表記に関する検討
- ・資料の修復・復元に係る調査研究、機材の選定等

②展示企画に関する業務

- ・展示に関する企画、計画、解説文の作成
- ・展示備品に関する企画、製作
- ・必要な機材の選定及びメンテナンス計画の検討等

③資料に関する業務

- ・資料アーカイブシステムの導入検討
- ・燻蒸機器、資料保管什器等資料管理に必要な機材の選定

④教育普及及び広報に関する業務

- ・博物館内外で行う公演、講習、講座等の企画
- ・博物館等に関する広報展開活動等の検討、実施

⑤施設管理に関すること

- ・カフェ、ミュージアムショップの企画検討
- ・必要な設備、備品等の検討等

⑥民族共生象徴空間の運営に関すること

- ・民族共生象徴空間の愛称、ロゴ等の検討

3 アイヌ語アーカイブ事業

- ・アイヌ語アーカイブの作成及びアーカイブ担い手の育成

Ⅶ その他

○ 助成事業関係

平成31年度の助成申請に向け助成事業案内を作成、配付するとともに、地域に出向き説明会を開催した。

資料名	作成時期	作成数	配付先
助成事業案内2019年度版	1月	500部	北海道アイヌ協会、各アイヌ協会、アイヌ関係団体、道内博物館ほか

- ・事業説明会

開催地	開催時期	説明者
八雲、帯広、新ひだか、登別、札幌、釧路、旭川、網走、東京	1月～2月	財団職員

第4 賛助会員の状況

区分	入会者数	退会者数	継続数	備考
個人会員	19	4	71	アイヌ文化普及啓発資料として、カレンダーを作成
法人会員	0	0	7	
合計	19	4	78	

第5 事業報告の附属説明調書

該当なし